

女性のつながりサポート事業【新潟県】

総事業費	9,070 千円
交付金額	6,802 千円

地域の実情と課題

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、女性の自殺やDV等の増加、解雇による経済的困難など、負の影響を与えている。
- 望まない孤独・孤立で不安を抱える女性が社会とのつながりを回復するために、きめの細かい支援が必要であるが、問題を抱える女性を支援する窓口は市町村やNPO等の団体にあるものの、各組織間での情報共有は必ずしも密ではなく、連携は十分ではない。

事業の特徴

- (公財)新潟県女性財団を中心に、NPO等や市町村の連携体制を構築するとともに、各種相談支援窓口を周知するほか、困難を抱える女性に生理用品を提供するなどにより、相談・支援に繋がっていく。
- フードバンクの連携組織である連絡協議会を中心に、女性同士の支援(ピアサポート)の提供や、よりリスクの高い者には、訪問・同行支援を行うなどし、きめの細かい支援を提供する。

事業の効果

- 連携会議、研修等を通じて女性支援に係る各団体の連携体制がさらに強化することができた。
- ピアサポートイベントの開催により、困難を抱える女性の支援や居場所の確保につながった。
- 行政や社会福祉協議会、専門機関、フードバンクやNPO等が連携することで、社会と繋がりにくかった女性を各種制度や相談窓口へ繋げることができた。

目的・目標

- NPO等の連携により様々な困難を抱えた女性を支援するネットワークを構築する。
- NPO等と連携し、困難を抱えた女性に対し、アウトリーチ支援やピアサポートなどのきめの細かい支援を提供する。

連携団体

- NPO等
(公財)新潟県女性財団、新潟県フードバンク連絡協議会を中心に、DV被害者支援団体、生活困窮者支援団体、母子寡婦支援団体、子ども食堂などの各種支援団体と連携。
- 公的窓口
相談・支援につながるよう、市町村、県教育委員会(県立高校等)、ハローワークなど幅広い組織と連携。

今後の課題

- 困難を抱える女性を支援に繋げるためには、公的機関とNPO等との更なる連携、協働関係づくりが必要。
- 様々な事情により困難を抱えている女性を具体的な支援に繋げるため、女性に寄り添い支援が行えるNPO等を育成していくことが必要。

事業の概要

ネットワーク形成・連携支援

□連携会議・勉強会の開催

市町村、関係機関、女性支援NPO等と「つながりサポート連携会議」を開催し、情報交換・意見交換するとともに、子どもの虐待対応やヤングケアラー支援などのテーマで講師を招き、勉強会を開催

参加団体：10団体
 連携会議：3回 勉強会：4回

□相談・支援窓口の人材育成セミナー

NPO等の相談人材を育成するセミナーを開催
 テーマ：「様々な困難を抱える女性支援について考える」

参加者：相談支援窓口の相談員等 18人
 実施回数：2回

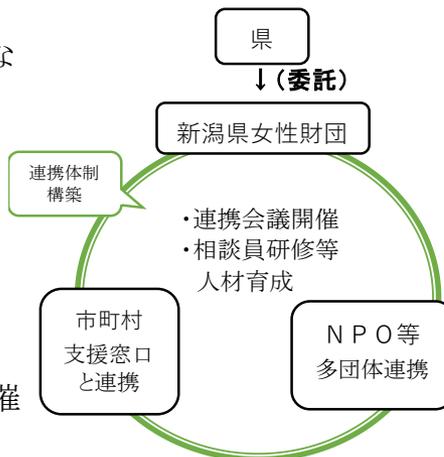
□相談・支援窓口の周知

女性のための相談・支援窓口のWebサイト「こいがたRibbonnet」の周知



□女性用品の配布

NPOや学校、市町村等の相談・支援窓口にて生理用品を配布（対象者の掘り起こし）



アウトリーチ支援・ピアサポート支援

□訪問・同行支援の実施

県フードバンク連絡協議会と連携し、職員の自宅配布等の機会を捉えて相談支援を実施したほか、専門分野を持つNPOと連携した同行支援を実施

訪問件数：108件

□ピアサポート支援

県フードバンク連絡協議会と連携し、女性支援イベントの実施による居場所づくりやフードパントリー開催と同時にピアサポートを実施

開催回数：22回

有資格者による専門相談

□法律相談

弁護士による法律相談を実施
 実施回数：48回（毎月2回・定期開催）
 相談者数：13人

□こころの相談

精神科医師によるこころの相談を実施
 実施回数：4回
 相談者数：5人